

# 10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 都民の日	2 漢字 挨拶8	3 計算 社会科見学5年	4 委員会紹介集会 挨拶9 水産業の学習5年	5 ホッパ体験3,4年 挨拶10 PTAイベント
6	7 朝会 海外派遣報告会 挨拶11 委員会	8 安全指導 挨拶12	9 漢字 挨拶13 プラネタリウム4年	10 計算 生活科見学1,2年	11 連合運動会社行会 挨拶14	12 区民まつり
13 区民まつり	14 体育の日	15 連合運動会6年 麻布幼稚園との交流 2年	16 漢字 研究授業1-1 挨拶予備日	17 計算 避難訓練	18 読書 生活科見学1,2年 (予備日)	19
20	21 JRC登録式 地域清掃	22 即位礼正殿の儀 開校記念日	23 漢字 学校公開 クラブ5回目 和作法1年	24 計算 学校公開 ふろしき5年	25 集会 学校公開 学校説明会11:00 和楽器5,6年	26
27	28 全校朝会 委員会11月分 地域清掃予備日	29 音楽 南山幼稚園との交流 5年	30 漢字 通学路点検	31 計算 職場体験6年		

## 10月の生活目標

「ていねいに使おう」

- ・片づけた後を見直そう
- ・次の人が気持ちよく使えるようにしよう



# 南山小学校 学校だより

## 10月号

令和元年 9月30日  
港区立南山小学校  
校長 難波 明夫

### 10月は体力向上努力月間

#### 【次代を担う子供たちに求められる体力】

文部科学省の体力調査の結果によると、子供の体力・運動能力は、昭和60年頃から現代に至るまで低下の傾向が続いています。体力は私たちが知性を磨き、知力を働かせて活動する源であり、生活をしていくうえで、気力の源でもあります。

先月、東京都児童体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果を児童に渡しました。各ご家庭では、お子さんと一緒に結果をご覧になりましたか。調査の項目は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」です。この8つの合計得点の平均が全国や都、学校ごとに出されています。本校の結果は下記のとおりです。

#### <1年>

- 男女ともに国や都の平均より高くなっています。
- 男子は「ソフトボール投げ」(投力)、女子は「立ち幅跳び」(瞬発力)が低い傾向にあります。

#### <2年>

- 男子は国の平均と同等であり、都の平均より高くなっています。女子は国の平均より低く、都の平均と同等になっています。

- 男女ともに「20mシャトルラン」(瞬発力)が低い傾向にあります。

#### <3年>

- 男子は国や都の平均より低く、女子は国や都の平均より高くなっています。

- 男女ともに「ソフトボール投げ」(投力)が低い傾向にあります。

#### <4年>

- 男子は国の平均と同等であり、都の平均より高くなっています。女子は区や都の平均より高くなっています。

- 男女ともに「ソフトボール投げ」(投力)が低い傾向にあります。

#### <5年>

- 男女ともに国や都の平均より低くなっています。

- 男子は「20mシャトルラン」(瞬発力) 女子は「上体起こし」(柔軟性)が低い傾向にあります。

#### <6年>

- 男女ともに国や都の平均より低くなっています。

- 男子は「ソフトボール投げ」(投力) 女子は「20mシャトルラン」(持久力)が低い傾向にあります。

【本校における体力向上の取組】 毎週(木)「体力アップタイム」に取り組んでいます。

種 目	内 容
タッチコーン	置かれたコーンを10秒間で何回さわることができるか。
リズムジャンプ	1分間、リズムよく何回、反復横跳びできたか。
フープをねらえ	ロケット上のものを持ち、目標のフラフープをめがけて投げる。
なわとび名人	様々な跳び方で何回できるか。いろいろな跳び方に挑戦する。
バルシューレ	様々なボールを使って、いろいろな運動をする。
道具となかよし	体の部分を利用して、フラフープを回す。
どこまでもなかよし	砂場で立ち幅跳びや助走をつけて跳ぶ。
鉄棒広場	紹介された技や自分にできる技に挑戦する。
リバーシ	地面に置いてあるものを素早くひっくり返す。得点を競う。
ながなわ	各学級で目標回数を決め、3分間跳ぶ。

私たちは日頃から炊事や掃除等、体を動かして行うよう努め、休日は屋内外で運動やスポーツを行い、活動的な生活を送ることで、心地よさを感じられるようにすることが大切です。

さわやかな季節を迎えます。ご家族で各種目をアレンジして、挑戦してみたいかがでしょうか。各ご家庭で運動に楽しみ、体力向上について考える契機となることを切に願っています。

## 水泳指導・夏季水泳

体育委員会

6月17日のプール開きから体育の授業、夏季水泳と水泳の学習をしました。

低学年は、「水慣れや浮く・もぐる遊び」を中心に、中学年は、「けのびやふし浮きなどの浮く運動、クロールや平泳ぎの初歩的な練習」に挑戦しました。高学年は、「課題別に分かれてクロール・平泳ぎの練習」をしてきました。

7月の中旬は雨や気温が低いことが多く、水泳指導が実施できない日が続きました。今年度は気温が低く、夏季水泳も中止が多いのではないかと考えていた矢先、気温が上昇し、昨年度は高温で中止となってしまった夏季水泳も今年度は実施することができました。7月30日の検定日には全学年合わせて97人もの児童が参加をしました。

水泳の終わりに各学年の子供たちに水泳の学習の成果をインタビューしました。今年の成果を生かし、来年も実りある楽しい水泳学習にしていきます。

【インタビュー】～今年度の水泳の学習でがんばったこと・できるようになったこと～  
○頭までもぐれるようになった。(1年生)  
○ふし浮きが長くできるようになった。／けのびを頑張った。(2年生)  
○25メートル泳げるようになった。／級が4つも上がった。(3年生)  
○クロールの呼吸を意識してできるようになった。(4年生)  
○水泳記録会を意識して、平泳ぎなど早く泳ぐことを頑張った。(5年生)  
○クロールで50メートル泳げるようになった。／平泳ぎのタイムが10秒縮められた。(6年生)

9月13日(金)には着衣泳を実施しました。着衣泳は水難事故に遭遇したとき、どのような行動をしたらよいか、実際に学習する場として毎年実施しています。今年度は中・高学年が実施をしました。水着の時と服を着たまま水に入った時の体の動き方の違いや、命をつなぐため、バケツやペットボトルなどが浮力を生み、助けとなることを学習することができました。



## 算数習熟度別学習 山の頂上を目指して

習熟度別少人数指導担当

本校では、3～6年生を対象に算数科の習熟度別少人数指導を実施しています。まず単元学習の前に行うレディネステストで、児童の習熟度を見積もり、希望のコースを調べます。そして、それをもとに担任と協議し、コース設定をします。このとき、学習の進め方や重視すべきねらいなどについて、共通理解を図ります。単学級は基本、発展の2コース、3年生は補充(じっくり)、基本、発展の3コースを準備し、授業を行います。補充コースは、より具体的に問題場面をとらえさせ、問題解決を教師や友達と一緒に進めます。基本コースは、教科書の進み方に沿った学習が展開されます。発展コースは、自力解決のあとの発表や検討を深めたり、教科書を離れて練習問題に取り組んだりします。

さて、ここからが大事なのですが、学校教育における少人数指導というのは、どのコースにも単元末には同じテストで評価をするので、それぞれのコースのゴール(到達度)は同じです。あくまでも「基礎基本の定着・応用(活用)・発展」という名の頂上に到達するための登山の仕方(コース)が異なるだけです。これは全ての児童が同じ頂上に立つということをねらった学習スタイルです。南山小はこの考え方に立ち、日々算数科の習熟度別少人数指導を行っています。

## 夏休み作品展



9月5日(木)～10日(火)、校舎の廊下を使い、夏休みの作品展が行われました。

自分で調査したり実験したりして作り上げたレポートや作品、親子で協力して作り上げた作品、どれも力作で、見ごたえのあるものばかりでした。

自分で考え、題材を選び、一つのものを作り上げた経験は、大きな達成感に繋がったと思います。お子様の成長の記録として、ご家庭で大切に保存しておいてください。

